

平成29年度(2017年度)

管理事業名	公民館事業				総合計画の体系	第4章 第2節	個性がひかる学び学びと文化創造のまちづくり 生涯にわたり楽しく学べるまちづくり ほか		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 3	公民館費		
部局名	地域教育部	予算執行所属		まなびの支援課					
予算大事業名 施設管理事業 公民館運営事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育総務費(目)公民館改修費 地区公民館改修事業								
事業の目的と概要 市民に地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう施設の維持管理を行います。 市民の自主的な学習・文化活動の支援を行うとともに、高齢化問題や防災等の現代的課題講座及び地域住民の学習ニーズに対応した主催講座を実施し、市民に学習機会を提供します。 地域文化の振興と市民の生涯学習に対する意欲の高揚、地域住民の親睦を図るため、29地区において地区公民館文化祭実行委員会が開催する地区公民館文化祭事業について補助を行います。 老朽化した公民館について、年次的に改修を実施し、安心・安全でバリアフリー対策を考慮したより良い施設づくりを推進します。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数 (主催講座除く)	人	370,776	384,307	339,239	地区公民館の貸出施設の利用者数
主催講座参加者数	人	49,493	53,064	57,431	地区公民館主催講座事業の参加者数
主催講座開催回数	回	1,853	1,849	1,984	地区公民館主催講座事業の開催回数
文化祭来館者数	人	40,403	42,139	37,441	地区公民館文化祭事業来館者数
成果の説明	平成26年度から、高齢化問題や防災等の現代的課題講座に加え、専門的な知識を持った市職員を活用した講座の企画に力を入れるなど、公民館における主催講座内容の充実に向けており、平成29年度は前年より参加者数が増加しています。施設利用者は前年に比べ減少しているため、主催講座以外の公民館利用の促進が課題となりました。地区公民館の改修事業では、南吹田地区公民館の移転建替のための各種工事を実施しました。また、山手地区公民館の移転建替及び江坂大池地区公民館改修工事のための実施設計を進めました。他に、吹六地区公民館の耐震診断、吹田東地区公民館の外壁補修工事を実施し、老朽化に対応した維持補修工事等を実施しました。これらの改修等工事により、安心安全で高齢者や障がい者にやさしい生涯学習施設の整備・充実に取り組みました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	525	879	-	△879
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,016	3,712	2,001	△1,710
経常収入 小計(a)	2,541	4,591	2,001	△2,589
給与関係費	80,141	81,409	83,240	1,830
物件費	133,934	167,045	132,881	△34,165
維持補修費	19,055	88,837	59,759	△29,078
社会保障扶助費	-	-	-	-
経常費用・補助金・交付金等	18,198	28,834	27,793	△1,041
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	43,114	49,807	52,090	2,283
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,038	2,874	3,509	635
退職手当引当金繰入額	8,064	3,882	5,757	1,875
支払利息	8,443	7,998	7,478	△519
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	313,987	430,686	372,507	△58,179
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△311,446	△426,095	△370,506	55,590
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	3,474	-	389	389
特別収入 小計(d)	3,474	-	389	389
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	0	-	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	3,474	△0	389	389
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△307,972	△426,095	△370,117	55,979
一般財源充当額	486,604	495,174	389,957	△105,217
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	178,631	69,079	19,840	△49,239

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	主な支出:地区公民館管理業務委託料57,895千円 光熱水費等 22,503千円 旧千一公民館解体工事完了による29,711千円の減
維持補修費	地区公民館の改修等工事及び維持補修工事にかかる工事請負費30,312千円の減 修繕料1,234千円の増
特別収入(その他)	吹六地区公民館耐震診断にかかる国庫補助金

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,541	2,929	2,001	△928
行政サービス活動支出	266,270	380,544	317,796	△62,748
行政サービス活動収支差額	△263,729	△377,615	△315,795	61,820
投資活動収入	3,474	-	389	389
投資活動支出	199,300	80,947	63,859	△17,088
投資活動収支差額	△195,826	△80,947	△63,470	17,477
財務活動収入	-	-	34,600	34,600
財務活動支出	27,048	36,612	45,291	8,680
財務活動収支差額	△27,048	△36,612	△10,691	25,920
収支差額 合計	△486,604	△495,174	△389,957	105,217
一般財源充当額	486,604	493,484	389,957	△103,527
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	財務活動収入:南吹田地区公民館新築事業のための地方債
----------	----------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	420,269 人	747 円	地区公民館利用者1人あたり858円のコストがかかっています。地区公民館利用者については平成28年度から従来の地区公民館利用者(貸館利用者及び主催講座参加者)に文化祭来館者を加えたものに変更をしています。
	平成28年度	479,510 人	898 円	
	平成29年度	434,111 人	858 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	48,165	48,939	775
未収金	-	-	-	地方債	24,385	24,525	139
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,874	3,509	635
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	20,906	20,906	-
事業用資産	3,240,843	3,247,269	6,426	固定負債	579,053	570,208	△8,846
有形固定資産	2,004,435	2,004,435	-	地方債	250,375	260,450	10,075
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,220,962	1,164,609	△56,354	退職手当引当金	35,993	37,978	1,985
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	15,446	78,225	62,779	その他固定負債	292,686	271,780	△20,906
無形固定資産	2,304	2,253	△51	負債の部合計	627,218	619,147	△8,071
固定資産	-	-	-	純資産	2,615,929	2,631,455	15,526
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	1,080	1,080
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	0	1,080	1,080	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	3,243,147	3,250,602	7,455
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,243,147	3,250,602	7,455
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

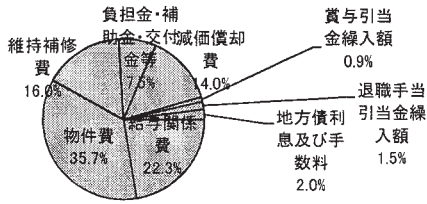
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	5.6人	29人	156日	454人	92,505
給与関係費等	51,653千円	20,497千円	1,335千円	19,020千円	
内、時間外勤務手当	2,348千円				

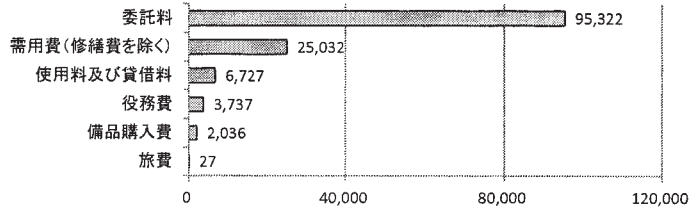
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物工作物	各館減価償却による減51,759千円 大井池公園便所の所管換による減4,595千円
建設仮勘定	南吹田地区公民館及び山手地区公民館移転にかかる工事費等59,050千円増・江坂大池地区公民館改修工事にかかる実施設計業務委託料3,729千円
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI事業で取得した公有財産の債務返済による減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹一地区公民館ほか29施設
取得年月日	昭和36年12月13日(吹一地区公民館ほか)
建物・工作物の取得価額	2,293,937 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,129,328 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.8	3.9	2.6	△ 1.3
施設老朽化比率	46.2	46.9	49.2	2.3
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	98.8	99.1	91.3	△ 7.8
経常費用対公共資産比率	14.0	18.7	16.2	△ 2.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費132,881千円(35.7%)、維持補修費59,759千円(16.0%)、給与関係費83,240千円(22.3%)となっています。物件費の主な内訳としては、地区公民館管理業務等委託料が約72%、光熱水費等の需用費が約19%を占めています。平成29年度地区公民館全体の老朽化比率は、平成28年度に比べ2.3ポイント進みました。個々の公民館の老朽化比率の平均は64.7%(平成20年度以降に建替えを行った4地区公民館を除いた個別の老朽化比率の平均は73.0%)となり、建替や改修工事を数館実施しているものの、市保有施設全体の老朽化比率57.0%と比較して老朽化が進んでいる施設が多数を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストの35.7%を委託料や光熱水費等で構成される物件費が占めていますが、地区公民館の窓口受付業務、清掃業務や各種保守点検業務等、地区公民館を安全・良好な状態で維持し市民へ提供するためには、必要な経費であると考えています。事業コストの16.0%を、南吹田地区公民館の移転に伴う管更生工事や吹田東地区公民館の外壁補修工事を実施したため維持補修費が占めています。また、山手地区公民館の移転及び江坂大池地区公民館の改修工事のための実施設計を進めるなど、老朽化に対応した移転建替や維持補修工事の実施を進め、施設の長寿命化に努めているところですが、他公民館については、依然老朽化が進行しており、経年劣化が原因による修繕維持補修(雨漏り修繕・外壁補修)等に関するコストが今後も増加することが予測されます。厳しい財政状況が続くことが予測されることから、その財源を確保することが非常に困難となっていますが、維持補修等にかかる経費をできるだけ平準化するために維持補修計画を立て、計画的に予算確保を行い、適切な時期に維持補修等を実施していくことが必要と考えています。事業コストの7.5%を負担金・補助金・交付金が占め、その内、38.7%を主催講座講師謝礼金が占めています。引き続き専門的な知識を持った市職員を活用して、気軽に行うことのできるストレッチ体操や、地域の歴史といった講座を展開し、限りある講師謝礼金を有効に活用していきたいと考えています。社会教育施設としての公民館の役割を果たすため、多様化する現代的な課題や社会的課題をテーマにした講座に取り組むと共に、講座を企画する企画運営委員への研修や情報提供を充実させ、市民にとってより魅力的な講座が提供できるようサポートしていきたいと考えています。